木のペンダント

場所	団体：クラフト室 家族：サービスセンター前
時間	1 時間～1 時間 30 分
値段	料金表参照
季節	年間
人数	クラフト室　席数 48

プログラムの概要・ねらい

自然の素材を使ってペンダントを作る。ノコギリや電動工具の使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験する。

※学校は、ノコギリを使って間伐材（丸太）または丸木材を切る作業あり。②実施の流れ

※団体・家族は、通常キットでの材料提供 ③実施の流れ

準備物

【利 用 者】活動に適した服装、救急用品
学校・団体：ぞうきん、新聞紙、**ポスカ**

【自然の家】材料（間伐材または丸木材、ひも）、ヤスリまたはマジカルサンダー、焼き印
学校：ノコギリ、ボール盤、ドリル刃（4.5mm）、万力、ベルトサンダー

①準備

学校・団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。新聞紙を机の上に敷く。

家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机に敷く。

②実施の流れ（学校）

【時間】

0:00　説明

0:20　材料の間伐材または丸木材（直径5cm程度）を万力で固定し、ノコギリで厚さ1～2cm程度に輪切りにする。（写真①）

0:40　切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。（写真②）
マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。
荒削り用→仕上げ用

1:00　子どもの作業状況により、早く削るためにベルトサンダーを使用する。
（写真③）ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、
以下の点に注意をする。
※削る際は、機械の横に立って作業をする。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
※1 台につき二人同時に作業は行わない。

1:10　表面が滑らかになったら、上部にボール盤でひもを通す穴（サイズφ4.5mm）を開ける。（写真④）ボール盤を使用する場合は必ず指導者が立ち会い、
以下の点に注意をする。
※穴を開ける位置を確認してから、電源を入れる。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。

1:20　ペンダントにポスカで絵や文字を書く。
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。（写真⑤）
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
※焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。

穴にひもを通し、完成。

1:30　片付け
終了
・キット（間伐材または丸木材（輪切り済）、ひも、ヤスリ）での販売も可能。
希望する場合は、事前に相談する。

①

②

③

④

⑤

次ページへ

③実施の流れ（団体・家族）

【時間】 通常、団体・家族はキットでの提供。（写真①）

0:00 間伐材（輪切り済）をヤスリでよく磨く。（材料内容：写真①）
［紙ヤスリ順番］荒削り用→仕上げ用

①

0:20 ペンダントにポスカで絵や文字を書く。（写真②）
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

0:35 希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。（写真③）
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
団体：焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。
家族：サービスセンター受付で焼印の依頼をする。

②

0:50 穴にひもを通し、完成。

片付け

③

1:00 終了

団体：間伐材（丸太）または丸木材をノコギリで輪切りにする活動から希望する団体は、事前にご相談ください。実施の流れは、②実施の流れ（学校）を参照。

③後片付け

学校・団体：工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。
ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付へ返却する。

家族：机の上に敷いた新聞紙を木くずと一緒にゴミ箱へ捨て、机の上をきれいにする。
借りた備品をサービスセンター受付に返却する。